

ニューノーマル時代。

世界が変わった。新たな経済秩序の中で、これまでの“やりかた”は通用しない。

「この経済危機がいつまで続くか誰にも分からない。しかし危機が過ぎ去ったときに私たちが目にするものは近年の平常な状態への回帰ではなく、『ニュー・ノーマル』、すなわち、『新しい標準』となるであろう。」

「ニュー・ノーマル」(“The New Normal”), McKinsey Quarterly, 2009 年第 3 号

2008 年末から 2009 年にかけて、世界の様相は一変しました。市場がどのように機能するか、どのようにビジネスを営むべきかについて、これまでの想定が根底から揺らぎました。そして今も尚、余震は鎮まっています。確かなのは、もう過去で言う「いつものやり方」に戻れないということです。

政治やビジネス、教育、生活全般において、新しい「やりかた」の確立が求められています。それは企業として、そして個人としての、つまり私たち全員の課題なのです。

今私たちが直面している変化には、経済的な側面のものもあれば、人口動態の変化、世界の勢力図の移動、情報通信技術の進化、化石燃料の終焉、新資本主義、グリーン・エコノミーなど、さまざまな力の要因が既存の体制と世界のパワーバランスを揺さぶっています。こうした流れが最終的にどこに行き着くのか、誰も正確には予測できません。ただ、こうした変化が私たちすべてに影響を及ぼすことは明らかです。

あまりにも多くのことが起こり、あまりにも多くの変化が同時進行しているため、全貌をつかむことはなかなか困難です。だからこそ、ここでは現在の状況をより全体的な構図として見渡すヒントを提案したいと思います。

今起きていることを広く観察することによって、この変化に対してどのような対応が必要であるのか、それを解き明かす手がかりを見つけてください。

<本編全体像>

